

営農だより

金沢営農協議会
JA金沢中央
石川県農業共済組合
金沢集落農業活動支援チーム

6月のポイント ～高品質金沢産米づくり運動10の推進技術～

- 中干しは、田植え1か月後から実施 ○中干し期間は、コシヒカリで約1か月間
- 畦畔・農道等の除草は5～6月にかけて実施し、7月上旬までに追加除草
- 高温登熟に対応した施肥体系

今後の水管理

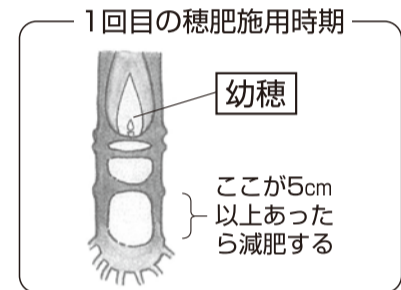
ゆめみづほ（早生品種）は、稲が最も水分を必要とする穂肥時期（幼穂形成期）～出穂後3週間になるので、常に土壌水分を保つように（飽水管理）、こまめに通水する。通水は可能な限り、夜間に通水し、根の活力低下を防ぐとともに乳白粒発生防止に努める。

コシヒカリ（中生品種）は、中干しを7月5日頃まで継続する。中干しを実施していない圃場は、軽く田干しを行ったのち、7月5日頃まで中干しを実施する。

ゆめみづほの穂肥施用

ポイント

- ① 1回目の穂肥は出穂23日前に適量施用する。
1回目の穂肥施用時期の確認 → 幼穂長：1～2ミリ 葉色：4.0～4.2（葉色板）
- ② 施用時期は幼穂を確認して1回目を規定量、遅れないように注意する。
- ③ 2回目の穂肥は遅くとも出穂の1週間前までに施用する。



出穂予想日 ゆめみづほ・・・7月17日頃

（地域や圃場、田植日によって出穂予想日は前後します。）

【穂肥施用時期の目安と施肥量】（10a当たり）

区分 品 種	肥 料 名	1 回 目		2 回 目	
		施肥時期	施肥量	施肥時期	施肥量
ゆめみづほ	BB有機入追肥 526号(15-2-6)	6月24日頃	20kg	7月7日頃	25kg

- ・市街地では上記の2～3日前を施用の目安にして下さい。
- ・乳白粒等の発生しやすい圃場で、生育が劣る場合には、2回目の穂肥施肥の際に5kg/10a程度増量する。
- ・登熟期間の高温が予想される場合には、2回目の穂肥施肥の際に5kg/10a程度増量する。

◆ コシヒカリの穂肥施用時期は次回の営農だより第5号でお知らせします。

営農テレホンサービス実施中（電話291-1555）

中干し後は、止め水せずに、こまめに通水を！

JA金沢中央のホームページでも営農だよりを掲載しております。
「JA金沢中央」で検索して下さい。

早生品種の病害虫防除

「ゆめみづほ」は茎数が多く、紋枯病にかかりやすい品種です。常発田では適期に防除して下さい。

◆紋枯病常発田◆

紋枯病が毎年発生する圃場では、早期予防が必要です。

薬剤名	防除時期	対象病害虫	散布量
リンバー粒剤	7月3～7日頃 (出穂前14～10日、収穫30日前まで)	紋枯病	3kg/10a

イモチエースクラブ粒剤を散布した圃場は、リンバー粒剤を散布する必要はありません。

◆稲こうじ病◆

過去に稲こうじ病の発生した圃場は発生翌年度から3年間継続して散布して下さい。

薬剤名	防除時期	対象病害虫	散布量
Zボルドー粉剤DL	7月3～7日頃 (出穂前14～10日)	稲こうじ病	4kg/10a
モンガリット1キロ粒剤	7月3日頃 (出穂14日前、収穫45日前まで)	紋枯病、 稲こうじ病	1kg/10a

注意1：Zボルドー粉剤DLは、薬害防止のため出穂10日前までに散布すること。
散布後7日間は落水かけ流しをしないこと。

注意2：モンガリット1キロ粒剤を散布した圃場は散布後45日間は、刈取りが出来ませんので、刈取日に注意して下さい。

◆早生品種の基幹防除（出穂前）

〈粉剤体系〉

薬剤名	①ビームトレモンセレン粉剤DL
防除時期	7月10～14日頃 (出穂前7～3日、収穫21日前まで)
対象病害虫	いもち病・紋枯病・穂枯れ・カメムシ ウンカ・イネツトムシ・コブノメイガ ツマグロヨコバイ
散布量	4kg/10a



②ラブサイドスタークル粉剤DL
③スタークル粉剤DL

〈粒剤体系〉市街地または近隣に他作物があり
粉剤散布できない圃場

薬剤名	①イモチエースクラブ粒剤
防除時期	7月3～7日頃 (出穂前14～10日、収穫35日前まで) *使用回数は1回
対象病害虫	紋枯病・いもち病・穂枯れ・カメムシ ウンカ・墨黒穂病・変色米
散布量	3kg/10a



②スタークル粒剤またはスタークル豆つぶ

(2回目以降の防除については、次回の営農だより第5号に掲載します)

- ◆カメムシ被害の多い市街地などで、粉剤散布ができない圃場では、粒剤体系で防除を行って下さい。
スタークル粒剤またはスタークル豆つぶは出穂後7日～10日に散布して下さい。
- ◆斑点米防止には、地域での一斉防除（集落一斉防除など）が有効です。
地域、集落ごとに協力して斑点米の発生を防ぎ、きれいな金沢産米をつくりましょう。
- ◆農道や畦畔の除草は7月上旬までに行ってください。

金沢管内の生育調査結果（5月29日調査）

- ・草丈は、ゆめみづほで平年・前年よりやや長く、コシヒカリで平年・前年並みである。
- ・茎数は、ゆめみづほで前年並みで平年より多く、コシヒカリで前年より少ないが、平年並みとなっている。
- ・生育は、いずれの品種も平年・前年並みである。

病害虫発生予報（5月26日発表）

- ・高温・少雨のためカメムシの発生が、やや多くなると予想されている。

※農薬は、飛散防止に気を付けて散布しましょう。

栽培履歴を記帳しましょう！